

03 優先課題で見る沖縄

優先課題 2 | こどもからお年寄りまで安心して 元気に暮らせる地域へ



くらべてみよう！沖縄の「これまで」と「これから」

チェックポイント	前の沖縄	今の沖縄	目指す沖縄	進み具合
人口10万人あたりの医者の数	257.2人 (2020)	266.1人 (2022)	268人 (2031)	➡
健康寿命(男性)	72.11年 (2019)	71.62年 (2022)	前回調査より 延伸(2031)	➡
健康寿命(女性)	75.51年 (2019)	74.33年 (2022)	前回調査より 延伸(2031)	➡
相談をして仕事が決まったひとり親家庭の数	924件 (2021)	1,111件 (2024)	1,545件 (2031)	↗
生活に必要なお金が足りず、困っている家庭の割合	23.2% (2021)	21.4% (2025)	16.6% (2031)	↗

数が少ないほど
良いんだよ！

表から見えてくる、沖縄の現在地

医療の体制づくり

沖縄では、みんなが安心して治療を受けられる仕組みづくりが進んでいます。医者の数はふえていますが、離島や住む場所によっては、まだ医者が足りないなどの課題もあります。どこに住んでいても、みんなが同じように「安心」して暮らせる社会をつくっていくことが大切です。

「健康・長寿おきなわ」の復活

沖縄では、「健康で長生きな島」を取りもどすために、バランスの良い食事や運動、病気の予防に取り組んでいます。しかし、働き盛り世代の死亡率が高くなっています。年をとっても元気に過ごせるよう、こどものうちから健康を大切にする習慣をみんなで広めていきましょう。

ひとり親家庭への支援・こどもの貧困解消

ひとり親の家庭や生活が大変な子どもたちが、安心して暮らせる仕組みづくりを進めています。最近では、仕事の相談や、地域みんなで食事や勉強ができる「居場所」もふえ、より多くの家庭をささえられるようになりました。これからも、すべての子どもが楽しく学び、夢に向かって成長できる環境をみんなでつくっていきましょう。

県民アンケートから見る沖縄の現状

1 健康診断、健康の相談が受けやすい



約**49%**

2 こどもの居場所設置や学習支援について、行政に力をいれてほしい



約**74%**

3 こどもの学校教育費のうち、制服の経済的負担が大きい(中2保護者)



約**72%**

出典 第12回県民意識調査(くらしについてのアンケート)結果



第12回県民意識調査(くらしについてのアンケート)結果



令和6年度沖縄こども調査(小中学生調査)結果



よりよい沖縄の実現に向けて アクションを起こそう!

1 健康的な生活習慣を身に着けよう
健康診断を定期的に受けよう



2 地域の見守り活動(こども食堂・無料塾など)に参加・応援しよう



3 使わなくなった学用品や学生服を寄付しよう



あなたもいっしょに！沖縄をよくするみんなの取組

「すこしお生活」で、
あなたとまちを元気に

沖縄医療生活協同組合

くわしくは
こちら



「すこしお生活」「24時間蓄尿塩分チェック」など、みんなで楽しく健康づくりをしています！困った時の相談や、お金の心配をせずに受けられる診察もあり、みんなが安心できる町を目指しています。自分や地域を元気にする活動に参加しませんか？

ゆいまあるでつなぐ、
制服と笑顔の輪

学生服リユース・リサイクル
ゆいまある

くわしくは
こちら



思い出のつまった制服を次の笑顔へつなぎませんか。「ゆいまある」では制服をきれいにし、安く売ったり、必要な家庭へ無料で届けたりしています。みなさんの寄付や協力が、地域の仲間をささえる力になります！

03 優先課題で見る沖縄

優先課題 3 「しまくとぅば」など地域への誇りと、夢をもって学べる教育の充実



くらべてみよう！沖縄の「これまで」と「これから」

チェックポイント	前の沖縄	今の沖縄	目指す沖縄	進み具合
しまくとぅばで、あいさつやおしゃべりができる人の割合	28.6% (2021)	42.5% (2024)	60.0% (2031)	➔
学校で伝統芸能の公演を見て、理解した児童・生徒の割合	84.0% (2021)	87.6% (2024)	90.0% (2031)	➔
夢や目標を持ち、決めたことを最後までやる児童生徒の割合(小学校)	78.3% (2021)	80.8% (2025)	84.0% (2031)	➔
夢や目標を持ち、決めたことを最後までやる児童生徒の割合(中学校)	76.4% (2021)	72.9% (2025)	82.0% (2031)	➔
生涯学習(大人になっても学ぶ)講座を受けた人の数	44,685人 (2021)	95,972人 (2024)	182,000人 (2031)	➔

表から見えてくる、沖縄の現在地

歴史と文化を学び、地元を誇る若者の活躍

2009年にユネスコ(国連教育科学文化機関)により、失われる可能性が非常に高い言語に指定された沖縄の「しまくとぅば」。使う人は少しずつふえています。もっと広めていく必要があります。また、学校で組踊などの伝統芸能にふれる機会もふえています。地域の歴史や文化を大切に、地元への愛着と誇りを持つ取組をこれからも進めていきましょう。

生きる力を育む環境づくり

新しい時代に合わせ、タブレットなどを使った授業や、自分でテーマを決めて調べる学習が進んでいます。これにより、将来の夢を持ち、目標に向かって進む人がふえています。お年寄りなど地域の方々を守ってきた沖縄をさらに良くするため、自分たちで考え、行動する力をこれからも大切に育てていきましょう。

学びと生きがいをささえる環境づくり

沖縄県では、いつでもどこでもだれでも学ぶことができる環境づくりを進めています。県や市町村が開く生涯学習講座の参加人数はふえており、多くの方が仕事や地域活動、趣味などを通じて学びとつながりを深めています。自分から進んで学び続けることで、自分の可能性を広げ、豊かで活力ある人生と、わたしたちが幸せに暮らせる社会をつくることができます。

県民アンケートから見る沖縄の現状

1 しまくとぅばに親しみを
持っている



約 **77%**

2 社会に出る上で必要な
資質を身に付けられる
教育環境が整っている



約 **26%**

3 生涯学習する機会が得
られている



約 **27%**

出典 沖縄県しまくとぅば
県民意識調査報告書
(令和7年3月) くわしくは
こちら



第12回県民意識調査
(くらしについてのア
ンケート)結果 くわしくは
こちら



第12回県民意識調査
(くらしについてのア
ンケート)結果 くわしくは
こちら



よりよい沖縄の実現に向けて アクションを起こそう！

1 うちなーぐち検定を
受けてみよう



2 職業体験やインターン
に参加してみよう/
受け入れに協力しよう



3 みんなが知っているこ
とや得意なことで、身近
な人をハッピーにしよう



あなたもいっしょに！沖縄をよくするみんなの取組

地域の宝を未来へ！
次世代がつくる感動の舞台

いっばんしゃだんほうじん
一般社団法人島人Lab

くわしくは
こちら



沖縄のミュージカルとも言われている「現代版組踊」。地域の歴史を学び、障がいの有無に関わらず、みんな
で一つの舞台をつくりまします。それぞれの個性が光り、
混ざり合う、全員が主役のステージ。ぜひ参加して
ね！

「まなびネットおきなわ」で
あなたの学びを発見

沖縄県生涯学習推進センター

くわしくは
こちら



学びたいと思った時がスタート！自分の生活に合わせて、いつでも、どこでも、だれでも勉強できる情報を届けます。「まなびネットおきなわ」で、新しい趣味や知識に出会う楽しさを。いっしょに学びの旅へ出かけましょう！

03 優先課題で見る沖縄

優先課題 4 自然や地域にやさしい観光と、観光と連携して地域を豊かにする産業振興、安心して働ける仕事づくり



くらべてみよう！沖縄の「これまで」と「これから」

チェックポイント	前の沖縄	今の沖縄	目指す沖縄	進み具合
自然や文化を守る観光への取組を感じた観光客の割合	40.7% (2021)	40.0% (2024)	70.0% (2031)	➡
沖縄の農林水産業(農業・林業・漁業)の産出額	1,117億円 (内訳: 農業922億円 林業16億円 漁業179億円) (2021)	1,085億円 (内訳: 農業879億円 林業16億円 漁業190億円) (2024)	1,500億円 (内訳: 農業1,205億円 林業16億円 漁業279億円) (2031)	➡
働ける年れい(15さい以上)の人のうち、働いている人の割合	60.0% (2021)	62.2% (2024)	61.5% (2031)	➡

表から見えてくる、沖縄の現在地

世界に誇る持続可能な観光産業の確立

沖縄では、自然を守りながら地域の宝を生かした観光を進めています。しかし、観光に来た人が「持続可能な観光を進めるための取組ができている」と感じる割合はまだ少なく、もっとがんばる必要があります。美しい自然や文化を守りながら、観光も盛り上げる「持続可能な観光」を広げ、世界に誇れる沖縄をつくっていきましょう。



観光と連動した産業活性化

観光を盛り上げながら、農業や漁業を元気にする取組が進んでいます。沖縄の食材は人気ですが、作ったり取ったりする人の数がへっています。未来の作り手を育てたり、沖縄県の農水産物を積極的に使うことで、農家さんや漁師さんをみんなで応援し、沖縄の豊かな恵みを守っていくことが大切です。


安定した雇用の実現


みんなが安心して働けるよう、仕事を探す人をささえる場を広げています。働いている人の割合はふえています。会社側も「働きやすい環境」を整えることが大切です。みんなが力を発揮できる職場をつくっていきましょう。


県民アンケートから見る沖縄の現状

- 1 持続可能な観光の推進すしんに関わるような活動をしている

 約 **53%**
- 2 すすめることができる地域の特産品がある

 約 **46%**
- 3 失業の不安がなく働ける

 約 **29%**

出典 令和6年度沖縄観光に関する県民意識調査結果
くわしくはこちら


第12回県民意識調査(暮らしについてのアンケート)結果
くわしくはこちら


第12回県民意識調査(暮らしについてのアンケート)結果
くわしくはこちら


よりよい沖縄の実現に向けてアクションを起こそう！

- 1 植樹・緑化活動、ビーチ・まちクリーンへ参加してみよう

- 2 地産地消！「県産品」を積極的に選ぼう

- 3 なりたい職業に向けて資格を取ってみよう


あなたもいっしょに！沖縄をよくするみんなの取組

観光が社会貢献に。
 沖縄のビーチを守る旅

沖繩ツリスト株式会社
 一般社団法人しまぬわ

くわしくはこちら



旅をするほど、沖縄がきれいに！島をめぐり、地元の人といっしょに海をそうじする「ビーチクリーンツーリズム」に出かけませんか？遊ぶことが自然を守ることにつながる新しい旅。あなたも参加しましょう！

沖縄の食材を食べて、
 未来につなげよう

沖縄県 流通・加工推進課

くわしくはこちら



地元の食材を食べる「地産地消」は、食材を運ぶ時のCO₂をへらす立派なSDGs。「くわっちーおきなわ」で県産食材を学んで食べてみよう！みんなの「おいしい」が、沖縄の持続可能な農業につながるよ。

03 優先課題で見る沖縄

優先課題

5

日本と世界をつなぐ、モノや情報じょうほうが行き交う場所・沖縄



くらべてみよう！沖縄の「これまで」と「これから」

チェックポイント	前の沖縄	今の沖縄	目指す沖縄	進み具合
那覇 <small>なは</small> 空港で取り扱う <small>あつか</small> 貨物量	17.0万トン (2021)	18.0万トン (2024)	33.0万トン (2031)	➡
那覇港で取り扱う外国の貨物量	129万トン (2021)	122万トン (2024)	238万トン (2031)	➡
IT(情報通信)産業で働く人1人あたりの売上額 <small>うりあげがく</small>	1,093万円 (2021)	1,235万円 (2024)	1,345万円 (2031)	➡

表から見えてくる、沖縄の現在地

国際物流と公正な貿易を進める

沖縄はアジアの中心にある便利な場所です。那覇空港で取り扱われる貨物はふえています。那覇港で取り扱われる外国の貨物はへっています。飛行機と船を上手に組み合わせて、新しい貿易の道を作り、世界とつながる元気な沖縄をみんなで目指しましょう。

ICTで産業DXを進める

沖縄では、デジタル技術を使って新しい仕事やサービスを生み出す「産業DX(デジタルトランスフォーメーション)」に取り組んでいます。コンピュータを上手に使うことで、今までより短い時間で良いものを作れるようになり、働く人の売上もふえています。これからもICT(デジタル)の得意な人を増やし、会社同士で助け合いながら、沖縄をもっと豊かにする「稼げる仕事」をみんなで広げていきましょう。

県民アンケートから見る沖縄の現状

1 「商業・貿易」に注力すべき



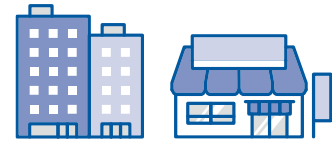
約 **61%**

2 物価が安定している



約 **13%**

3 沖縄の優位性を生かした新事業・新産業が生まれている



約 **25%**

出典 第12回県民意識調査 (暮らしについてのアンケート)結果 [くわしくはこちら](#)

第12回県民意識調査 (暮らしについてのアンケート)結果 [くわしくはこちら](#)

第12回県民意識調査 (暮らしについてのアンケート)結果 [くわしくはこちら](#)

よりよい沖縄の実現に向けて アクションを起こそう！

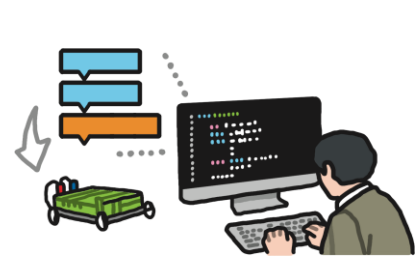
1 日本で唯一の国際物流特区について調べてみよう



2 沖縄の港から輸出しているモノについて調べてみよう



3 プログラミングなどのデジタルスキルを身に付けよう



あなたもいっしょに！沖縄をよくするみんなの取組

アジアの中心・沖縄。 経済の最前線を学ぼう

沖縄県 企業立地推進課

[くわしくはこちら](#)



アジアの中心にある沖縄は、飛行機や船の通り道として、新しい工場やITの会社がどんどんふえています。ポータルサイトで沖縄の経済について学び、未来を動かすお仕事の世界をのぞいてみませんか？

沖縄最大級のIT・DXイベント。 ResorTech(リゾテック)へ！

ResorTech EXPO in Okinawa 実行委員会

[くわしくはこちら](#)



沖縄最大級のIT・DXイベント「ResorTech EXPO (リゾテックエキスポ)」は、年に1回のビッグイベント。ビジネスやわたしたちの生活を便利にする国内外の最新デジタル技術を、ぜひ会場で体験してみてください！